



委員会だより

平成25年7月23日発行

町内会の皆様 こんにちは！！

今年は仙台でも7月上旬に真夏日を記録するなど暑い日が続きました。西日本では猛暑日が続いており、これからの夏本番に向けて暑さが心配になります。



さて、町内会の皆様に4月から新体制でスタートした各委員会での活動内容についてご報告いたします。今回は4委員からの報告と地域通貨についての報告です。

保体育委員会の活動

保体委員長 土田栄子

(回覧されるころには終わっていると思いますが) 夏祭りを目前に控え、保体委員は今その準備に追われております。

今年は新しい取り組みとして「泉まちづくり同盟」という泉区の大学の学生さんたちがお店してくださることになりました。子供たちを対象に割り箸のゴム鉄砲を一緒に作るという「鶴が丘おもちゃ工房」です。無料のソフトクリームとともに、お子様に喜ばれる内容が増えたことと思います。



秋祭りと来年以降の夏祭りにも参加して下さる予定ですので、これから例年以上に活気のあるお祭りになりそうです。

福利厚生委員の活動

福利厚生委員 遠山光子

今年で2年目の福利厚生委員であります。去年はほとんど委員長さんまかせでいたらない私でした。今は、敬老祝いについて、ぼつぼつ集計に取り掛かったりしていますが、まちがいなく祝い金・お祝い品をお届けできるよう頑張っています。また秋には、健康講座もあります。役員の方々のお力をお借りして、無事に大役を果たせるよう頑張っていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願ひしたいと思います。



放射線量の簡易測定結果について

防災安全委員会 岡野 満

日頃は、町内会の活動にご理解、ご協力を頂きましてありがとうございます。
平成23年11月より町内会で実施しておりました、放射線量測定を今年も行いましたので結果をお知らせ致します。

実施日時 : 平成25年5月18日(土) 9時~12時

測定場所 : 鶴が丘1丁目内の公園4ヵ所、鶴が丘小学校指定通学路、その他全体として放射線量は低下しており安心出来る環境が維持されています。

◎放射線量に不安があり自分で測りたい方や測ってもらいたい方は、班長、地区長にご連絡ください。

◎来年度も町内の簡易測定を継続する予定です。

<測定結果> (※国の除染基準値「地上1mの高さで毎時0.23マイクロシーベルト以上」)

①地上1m……今年、前年度より大きく低下していました。

(毎時0.23マイクロシーベルトを超えた箇所はありませんでした)



②参考測定値：地表(0~5cm)…毎時0.12~0.28マイクロシーベルト

昨年の測定では最高値で毎時0.70マイクロシーベルトでしたから半減しています。

環境衛生の活動について

環境衛生委員長 大野正雄

今年4月から委員長を引き受けました。活動内容は清掃活動を中心とした環境関連と家庭ゴミ集積所を主とした衛生関連、それらに関係する役所への対応などです。最近、一斉清掃活動への出席率が悪いと言われております。その要因の一つが当町内の高齢化があると思います。これから増々高齢化が進み、出たくても出られない方が多くなることが予想されます。その意味で清掃活動のあり方を考える時期に来ているかと考えます。

今、タイミングよく”地域通貨構想”が検討されております。その一環として考えていくことも一つの方策かと思っております。現状、皆様のご協力が不可欠です。よろしくお願い致します。



特別会計予算と地域通貨事業の近況の御報告

会長 小林国男

去る4月15日の定例総会で、平成25年一般予算・特別会計予算はその背景説明と予算承認を頂きました。特に特別会計の最近の推移についてご報告しておきます。

従来 特別会計は「集会所の老朽化に備え建て替えるため」、近年では数百万円以上の金額を積み立ててありました。1丁目集会所は1980年頃の新築、南集会所は1990年ころの建物ですが、何度かの修理・改修がされ、最近では平成21年に1丁目集会所、平成23年に南集会所の地震被害補修をしています。平成23年度役員会のプロジェクトチームの検討結果、「完全な立替を目指さずに」「必要な修理保全工事を実施」する結論に至りました。平成24年度では総額300万円の修繕を仙台市に要望をし、仙台市との協議で300万円のうち100万円相当分が助成対象に入らない修繕項目でしたので、この部分を平成24年度で実行し、残り200万円相当を今年度または来年度（仙台市に出されている要望の順番を待ち）に実行する計画をしているのが今までの経緯です。（予算では実行時点での計画の膨張を配慮し、総額300万円、負担分100万円）

今年度の特別会計支出予算は、①1丁目集会所の保全修理費：100万円、②ゴミ集積所自主改修費：100万円、③地域通貨構想事業費：100万円 でした。しかし集会所修理①は市役所助成金の認可は順番まちで、私たちの計画は今年度では実現しそうもなく、支出ゼロになる見通しです。（来年度には実現するはず）ごみ集積所改修②は各地区からの要望をお願いして来ましたが、数箇所の僅かな手直し要望以外は費用のかかるものは殆どありませんでしたので、おそらく10万円以下の支出になると思われます。地域通貨事業は総会時に期待していた準備室の活動が実行されないまま不測の事態により停滞した状況です。そのため地域通貨導入は少なくとも数ヶ月の遅れの状況です。この予算内容は40万円が実際の経費支出、60万円が年度末での換金準備金でしたので、おそらく今年度の実際の支出は予算の半分50万円以下になると予想されます。これらの結果300万円の支出予算に対し、現在は60万円前後の支出予測です。

地域通貨アンケート調査の結果御報告を回覧しましたように、皆様からの期待は大きいものがあります。その期待に迅速に応える事が出来ない現況であることを、お詫びせねばなりません。まずは皆様にもっと知っていただくための、会員全員を対象とした勉強会を計画します。昨年度と今年5月には役員だけの勉強会をしたのですが、皆様には届いていないのが実際です。東北学院大学の増子教授や、

実際に地域通貨「かまど券」を実行しておられる栄和台地区社会福祉協議会の方々、あるいは南光台で助け合いの活動を実践しておられるNPOオレンジネット代表の方など、何人かの方々の講演を企画したいと思っています。

みなさまの御理解と御支持がなければ、このような私たち自身のためのしくみの実現は困難です。おそらくいろいろな問題が今後もたくさん出てくるものと思いますし、アンケートの中に散見されたような御批判にも応えていかななくてはなりません。絶え間ない改善と対処を含め今後も継続的な活動を実践できればと思っています。

出発点は下のような幾つかの発見に基づくものでした。

- ・ 町内一斉清掃の活動に参加したくとも参加できない多くの方々がおられる
- ・ 除草活動で頼っていた少数の方々も高齢化の波に呑まれる事態が切実に近い
- ・ 大震災の際に顕在化した日常でさえ身動きのとれない多くの方々が生かされること
- ・ 地域のお店も高齢化社会の波の中で私たちが必要としているものでもシャッターを降ろす危機が迫っている
- ・ ここ数年テレビや新聞を賑わした無縁社会に私たち自身が直面している

これらの問題に対処するのに、地域通貨が唯一の対策なのかどうかは自信がありませんが、今考えられるひとつの道具であることは確かです。

どんな社会活動にも費用がかかります。行政が全てを実行し負担できる状況はまだまだ将来のことです。自分達の社会は自分で作り上げていくと、私たちの幸せに助けになり、同時に私たちのまちの価値も上がります。そのために皆様から集めた会費を使わせていただければと願うものです。NPOに任せてやってもらったらとの御意見もあります。

しかしそのような仕組みでも、財政的にはもっと困難な状況が想像されます。当初のスタートは町内会の枠組みで実現し、財政的には補間しあえるようなほか組織への移行も1～2年後にはあり得るかとも思います。

以上の実現のための組織を早急に組み替え、今年度中の導入を目指し努力する所存です。地域の私たち人と人の絆を再び結びなおし、思いやりを互いにもてる暖かな社会を、地域通貨という道具を利用して作るために、皆様から頂いた会費を、会員・地域のために有効に活かしたいと願っています。

